

2020 年度事業報告書

特定非営利活動法人 とよなかESD ネットワーク

I 事業期間

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

II 事業の成果

本年度は、コロナウィルスの蔓延により、様々な活動に規制がかかり非常に困難を極める 1 年となった。一方で、それまで潜在化していた社会課題が一気に表出し、市民活動の意味や意義が再認識される一年でもありました。

新しい活動スタイルを模索する日々の中、行政と団体との仲立ちとなりながら、改めて「協働の文化」をつくることや連携のあり方を再構築する必要性も感じました。

「豊中市における協働の文化づくり事業」においては、最終年にあたり、若手の行政職員も巻き込みながらの勉強会の開催や、制度の見直しに向けた確実な足掛かりを行政と協働でつくることができました。

また、生活困窮世帯に向けた学習支援事業では、コロナ禍における子どもの学習の遅れや居場所の確保など、前年度以上に価値ある居場所を確立することができました。関連して「子どもの居場所ネットワーク」事業では、前年度に市と協働で作成したロードマップに基づき、微力ながら居場所を増やすことに尽力するとともに、地域における子どもたちのセーフティーネット構築のための一歩を踏み出すことができました。加えて、ポータルサイトの設置など、広く市民に向けて「子どもの居場所」の存在と必要性を投げかけることができました。

市民活動情報サロンの取り組みでは、オンラインでの事業展開も含め、新しい活動スタイルにチャレンジすることができた 1 年でした。

III 事業の実施に関する事項

1. 協働育成事業

① 学校支援事業

・学校出前授業

【内 容】 ライフデザイン講座の出前授業

【実施場所】 刀根山高校、千里青雲高校

【収 入】 25 千円

【支 出】 10 千円(諸謝金 10 千円)

・教職員研修

【内 容】 豊中市教職員 10 年目研修にて「学校・家庭・地域の連携」について講演を行なった。

【実施場所】 豊中市教育センター

【実施日時】 7/22, 7/26

【収 入】 16 千円

【支 出】 0 円

② 子ども・若者向け事業

・学習支援「おもろ荘プロジェクト」

【内 容】 学ぶ環境が整っていない子どもや学校に行きにくい中高生の学習支援を行った。

- 【実施場所】 とよなかりレーションハウス
 【実施日時】 2020年4月～2021年3月
 【収入】 3,149千993円
 (事業委託料3,000千993円、フードデリバリー補助金149千円)
 【支出】 3,149千993円(人件費2,328千438円、諸謝金45千円、
 旅費交通費162千20円、印刷製本費3,135円、通信運搬費18千円、
 消耗品費180千329円、賃借料360千円、研修費20千231円、
 保険料22千500円、支払い手数料10千340円)

・ 若者サミット実行委員会

- 【内容】 若者サミットの開催に向けて、学生や若手社会人が集まって対話の場を開催し
 若者支援計画見直しに向けた提言を行った。
 【実施場所】 くらしかん、市民活動情報サロン他
 【実施日時】 2020年4月～2021年3月
 【収入】 170千円
 【支出】 133千696円(人件費50千円、諸謝金32千500円、旅費交通費43千320円、
 消耗品費5千236円、支払い手数料2千640円)

③ 市民活動団体支援

- 【内容】 市民活動情報サロンの委託業務
 【実施場所】 市民活動情報サロン
 【実施日時】 2020年4月～2021年3月
 【事業の対象者】 市民公益活動団体、ボランティアをしたい市民など
 【収入】 9,981千400円
 【支出】 9,333千631円(人件費7,109千799円、通勤手当202千400円、
 法定福利費941千243円、福利厚生費12千819円、諸謝金280千841円、
 印刷製本費5千55円、通信運搬費112千564円、消耗品費390千383円、
 研修費50千100円、支払い手数料66千510円、新聞図書161千917円)

④ 地域の担い手育成

- 【内容】 とよなか地域創生塾でのワークショップ講師や塾生サポートを行った。
 【実施場所】 教育センターなど
 【実施日時】 2020年4月～2021年3月
 【事業の対象者】 塾生、豊中市民など
 【収入】 650千円
 【支出】 195千468円(人件費23千円、諸謝金106千126円、旅費交通費
 62千円、支払い手数料4千342円)

2. 連携促進事業

① 学校、家庭、地域の連携コーディネーター

- 【内容】 子どもの居場所づくりコーディネーター事業
 【実施場所】 市内全域
 【実施日時】 2020年4月～2021年3月
 【収入】 5,500千円

【支 出】 3,147千764円(人件費1,941千132円、諸謝金249千521円、旅費交通費200千920円、印刷製本費6千720円、通信運搬費155千616円、消耗品費234千743円、賃借料187千350円、水道光熱費24千613円、研修費129千769円、支払い手数料17千380円)

②協働の文化づくり事業

【内 容】 豊中市コミュニティ政策課と協働で、豊中市における協働の制度見直しを行った。
また、オンラインによる学びの場づくりを行った。

【実施場所】 市民活動情報サロン、オンライン

【実施日時】 2020年4月～2021年3月

【収 入】 0円

【支 出】 0円

③ESD情報の収集と連携づくり

【内 容】 ESDリソースセンターWEB運営事業

【実施場所】 当法人事務所ほか

【実施日時】 2020年4月～2021年3月

【収 入】 291千500円

【支 出】 250千997円(人件費43千円、諸謝金115千500円、旅費交通費4千620円、印刷製本費4千575円、消耗品費36千552円、支払い手数料4千400円、雑費42千350円)

④ ESD教材開発

【内 容】 SDGsの研修プログラムの開発・実施した。

【実施場所】 環境交流センター他

【実施日時】 随時

【収 入】 0円

【支 出】 0円

3. ESDの情報収集・発信

【内 容】 ESDに関する情報を収集し、ホームページなどで発信していく。

【実施場所】 当法人事務所

【実施日時】 随時

【事業の対象者】 学校教育関係者・豊中市民・ESDに関心のある市民

【収 入】 0円

【支 出】 0円

4. 講師派遣

【内 容】 市民向けにSDGsの理解・促進に向けた研修を行った。

【実施場所】 環境交流センターほか

【事業の対象者】 豊中市民

【収 入】 30千円

【支 出】 0円

IV 社員総会の開催

・2020年5月29日（水）19:00～21:00まで豊中市市民活動情報サロンとオンラインにて2020年社員総会を開催し、2019年度事業報告（案）と決算（案）、2020年度事業計画（案）と予算（案）について審議した結果、全て可決承認された。

出席者は、社員12名のうち参加者9名、委任状提出者2名を含めて11名であった。

V 理事会運営

定例理事会をつぎのとおり開催する中で、団体のビジョンミッションの確認を行った。また、その理念に沿った事業展開ができてきているかの確認を行いながら、事業企画も進めた。

2020年度 定期理事会

- 第1回理事会 6月24日（水）8名
- 第2回理事会 7月29日（水）6名
- 第3回理事会 8月9日（水）7名
- 第4回理事会 9月9日（水）7名
- 第5回理事会 10月28日（水）7名
- 第6回理事会 12月2日（水）8名
- 第7回理事会 2月4日（木）8名
- 第8回理事会 3月18日（木）8名
- 第9回理事会 4月23日（金）7名